

ネバリタデ

Persicaria viscofera (Makino) H.Gross var. *viscofera*
タデ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

以前に越前町、越前市、鯖江市、福井市、大野市で採集記録があるが、現在の生育状況が不明であるので、要注目とした。

分布

北海道～九州に分布する。県内では越前町、福井市、越前市、大野市、鯖江市で記録がある。

種の特徴

山野の日当たりのよい場所に生える一年草。茎の上部の節間から粘液をだす。托葉鞘の縁には長い毛がある。花序は長さ3～5 cmで、淡紅色か緑白色の花をまばらにつける。

生育を脅かす要因

植生遷移の移行、造成工事等による生育環境の悪化。

参考文献 林弥栄・平野隆久（1989）、北村四郎・村田源（2008）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○					○		○		○	○

ニオイタデ

Persicaria viscosa (Buch.-Ham. ex D.Don) H. Gross ex T.Mori
タデ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

要注目とされた前回調査では勝山市、あわら市、福井市で生育が確認されたが、今回調査では、生育状況が不明であるので、引き続き要注目とした。

分布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では福井市、勝山市、大野市で記録がある。

種の特徴

原野に生える大型の一年草で高さ1～1.5 mになる。托葉鞘は筒型で長い毛が多い。茎や葉、葉柄に粗い開出葉の他に黄色の短い線毛が密生し、よい香りがする。

生育を脅かす要因

草地の開発や植生遷移の進行が生息を脅かす主要因である。

参考文献 林弥栄・平野隆久（1989）、北村四郎・村田源（2008）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	○

モウセンゴケ

Drosera rotundifolia L.
モウセンゴケ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の開発等による生育環境の消失や悪化のほか、園芸採取により減少している。

分布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

日当たりの良い湿地に生える多年草。根出葉の葉身は長さ5～10 mm、裏面に長い消化腺毛があり、基部は細くなって柄になり、その基部に縮れた褐色の毛がある。6～8月頃、高さ6～20 cmの花茎が出て、総状花序が付く。花序には数個の花が片側に付く。花弁は白色。

生育を脅かす要因

生育地である湿地の開発等による生育環境の消失や悪化。山野草マニアによる園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県自然保護課編（2004）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○